



宮城県仙台第一高等学校

令和七年度

学校案内

自重
献身

自発
能動

スーパーサイエンスハイスクール指定校

仙台一高の概要

校訓 自重献身

標語 自発能動

明治39年の開校記念日に当時の川田正激校長（第6代）の発案で「自重献身」の校訓が制定されました。「献身」とは自己犠牲を意味し、これこそ善の最大なるもので、これなしでは人格の形成は不可能であり、また「自重」とは「献身」と矛盾するものではなく、良心の命令に従って私利私欲を滅し、人格を完成させることがもっとも自己を尊重するもので、これこそが本来の自重というのです。この献身の精神は、人格完成の唯一の途であり、自己を最も尊重することになるというのです。

創立40周年の昭和7年、当時の小平高明校長（第9代）は標語「自発能動」を発表され、生徒の自主性を尊重し、これを涵養とすることを念願しました。小平校長の教育方針は、この「自発能動」のもと、常に教育の独自性と権威の確立を信条とされ、確固不動のものであったからこそ、時代の激動の中でも、生徒はひたすら本分に励むことができました。

今日でも校訓と標語は、一高生の生涯を通じて大きな支えとなっています。



川田正激校長（第6代）



小平高明校長（第9代）

教育目標

教育基本法並びに学校教育法に則り、人格の完成をめざし、社会に対する健全な批判力を養い、自主自立の精神に満ちた、心身ともに健康な国家及び社会の有為な形成者を育成する。

スクール・ミッション（社会的役割等）

県内初の尋常中学校として1892（明治25）年に創立した宮城県仙台第一高等学校は、校訓「自重献身（自重以テ己ヲ律シ 献身以テ公ニ奉ス）」、標語「自発能動 以亮天功」のもと、社会に対する健全な批判力を持ち、自主自立の精神に充ちた、心身ともに健康な、国家及び社会の有為な形成者となる生徒の育成を目指します。

スクール・ポリシー（3つの方針）

1 グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

自主自立の精神に充ちた、社会に貢献できるリーダーの資質として、特に次の1～4の力や態度を身に付けさせます。

- 1 深い知識・教養と柔軟な思考力、判断力、表現力
- 2 幅広い視野と問題発見力、問題解決力
- 3 社会に対する健全な批判力
- 4 他者理解を積極的に行い、受容しようとする態度

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

自主自立の精神に充ちた、社会に貢献できるリーダーの資質を身に付けさせるため、特に次の1～4に留意し、教育活動を行います。

- 1 生徒の自主的・自発的に活動する時間を尊重し、自ら成長しようとする力の育成
- 2 学習意欲を喚起し、幅広く深い知識・技能を習得させ、それを活用する場面を作ることで、主体的・対話的で深い学びの実現
- 3 学習活動、部活動、特別活動、校外活動等で、社会と主体的に関わる姿勢と、他者との協働性の育成
- 4 生徒のキャリア指向の多様化に対応する、個に応じた学びの充実

3 アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

高校生活のあらゆる場面で自己の可能性を追求しながら、豊かな人間性を磨いていこうとする、次の1～4の全てに当てはまる生徒を求めます。

- 1 極めて優秀な学力を有し、学問の本質を探究する意欲にあふれた生徒
- 2 幅広い知識または優れた技能を有し、主体的な学習者として、継続的に日々努力できる生徒
- 3 課題の解決やその取組の発信に積極的で、よりよい社会の構築にむけて理想を実現しようとする高い志を有する生徒
- 4 部活動、特別活動、校外活動等で中心的な役割を担った生徒、または優れた能力や顕著な実績がある生徒

沿革

本校は、明治25年4月1日、宮城県尋常中学校として創立しました。初代校長は、国語辞典『大言海』の編集で知られる大槻文彦先生です。校舎は、最初は清水小路、次いで南六軒丁、そして明治41年に元茶畑に移り、現在に至っています。校名も、宮城県第一中学校、宮城県仙台第一中学校を経て昭和23年4月に宮城県仙台第一高等学校となりました。平成4年12月に現校舎の全面改築が終わり、翌年2月に、創立100周年・校舎落成記念式典が行われました。平成22年度から男女共学となりました。全日制の卒業生は33,000名以上に及んでいます。令和4年度には、創立130周年を迎えました。



創立130周年記念壁板（校舎1階に設置）



初代校長 大槻文彦

大槻校長は、生徒の人格を尊重し、その個性を伸長する教育を行い、吉野作造氏（政治学者）、真山青果氏（劇作家）をはじめ社会のリーダーとなる人物の育成と輩出に努めました。



大言海

大槻校長は政府の命を受け、我が国初の近代的国語辞典「言海」を編纂し、明治24年に発行しました。その後「大言海」として改訂されました。



旧講堂玄関

明治41年に建築された旧講堂の玄関が現校舎の北側に保存されています。（弓道場の一部として使用）

旧登米高等尋常小学校（重要文化財）の設計でも知られる宮城県技師 山添喜三郎氏によるものです。

卒業生の活躍

青木 存義	（明治25年）	作詞家	「どんぐりころころ」「牧場の朝」
真山 青果	（明治25年）	劇作家・小説家	「元禄忠臣蔵」
吉野 作造	（明治25年）	政治学者・思想家	大正デモクラシーの立役者
野副 鉄男	（大正4年）	化学者	ヒノキチオール発見
加藤陸奥雄	（大正13年）	昆虫学者	大学入試センター初代所長
角田 文衛	（大正15年）	考古学者	エジプト発掘、日本古代史
石田名香雄	（昭和10年）	医学者	センダイウイルス発見
二宮 康明	（昭和14年）	工学者	「よく飛ぶ紙飛行機」
菅原 文太	（昭和24年）	俳優・声優	
井上ひさし	（昭和25年）	小説家・劇作家・放送作家	「青葉繁れる」 仙台文学館初代館長
樋口 陽一	（昭和25年）	憲法学者	「憲法入門」
清水 浩	（昭和28年）	工学者	電気自動車の研究
小濱 泰昭	（昭和37年）	工学者	「地球環境とエアロトレイン」
小池 光	（昭和38年）	歌人	仙台文学館二代館長
野家 啓一	（昭和39年）	哲学者	科学哲学
本川 達雄	（昭和39年）	生物学者	「ソウの時間ネズミの時間」
船山 信次	（昭和42年）	薬学者	「毒と薬の世界史」
榊原 光裕	（昭和47年）	ピアニスト・作編曲家	
阿部 勉	（昭和48年）	松竹映画監督	「幸せ家族計画」
佐伯 一麦	（昭和50年）	小説家	「ア・ルース・ボーイ」 仙台文学館三代館長
岩井 俊二	（昭和53年）	映画監督・映像作家	「花は咲く」 作詞者
小久保英一郎	（昭和59年）	理論天文学者	
浅野 祥	（平成17年）	津軽三味線奏者	

（ ）は入学年。「 」は著書、作品または業績。敬称略。

校章



宮城野の萩に笹（竹）を配して仙台を象徴するとともに、萩のふくらみと竹の強さに柔と剛、すなわち質実剛健な中にも豊かな情操をふくんでいることを象徴している。（昭和23年4月15日制定）



井上ひさし氏とともに

仙台一高の学び

本校の教育課程

1 学年では基本となる国数英を中心に、幅広くさまざまな科目について学びます。2 学年から一部選択科目が入り、文系・理系に分かれます。3 学年では将来の進路希望に対応できるよう、仙台一高独自の学校設定科目を含めた選択科目を多く取り入れています

令和8年度入学生教育課程表

単位数	1 年	2 年		3 年	
		文系	理系	文系	理系
1	現代の国語	論理国語	論理国語	論理国語	論理国語
2			古典探究		
3	言語文化	古典探究		みやぎ文学研究 α	古典探究
4			みやぎ文学研究 α		
5	歴史総合	地理総合		地理総合	みやぎ文学研究 γ
6			地理総合		
7	公共	みやぎ文学研究 β		※ 「地理探究」 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	数学Ⅲ
8			※ 「日本史探究」 「世界史探究」		
9	数学Ⅱ	数学Ⅲ		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
10			公共		数学Ⅲ
11	数学Ⅱ	数学Ⅲ		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
12			数学Ⅱ		数学Ⅲ
13	数学Ⅱ	数学Ⅲ		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
14			化学基礎		数学Ⅱ
15	生物基礎	数学Ⅱ		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
16			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
17	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
18			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
19	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
20			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
21	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
22			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
23	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
24			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
25	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
26			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
27	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
28			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
29	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
30			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
31	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
32			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
33	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
34			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
35	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
36			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
37	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
38			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
39	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
40			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
41	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
42			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
43	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
44			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
45	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
46			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
47	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
48			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
49	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
50			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
51	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
52			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
53	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
54			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
55	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
56			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
57	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
58			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
59	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
60			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
61	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
62			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
63	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
64			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
65	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
66			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
67	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
68			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
69	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
70			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
71	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
72			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
73	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
74			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
75	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
76			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
77	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
78			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
79	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
80			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
81	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
82			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
83	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
84			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
85	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
86			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
87	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
88			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
89	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
90			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
91	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
92			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
93	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
94			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
95	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
96			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
97	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
98			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
99	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
100			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
101	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
102			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
103	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
104			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
105	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
106			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
107	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
108			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
109	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
110			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
111	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
112			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
113	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
114			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
115	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
116			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
117	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
118			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
119	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
120			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
121	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
122			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
123	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
124			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
125	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
126			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
127	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
128			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
129	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
130			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
131	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
132			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
133	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
134			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
135	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
136			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
137	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
138			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
139	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
140			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
141	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
142			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
143	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
144			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」
145	数学Ⅱ	※ 「物理基礎」 「地学基礎」		※ 「日本史探究」 「世界史探究」 「倫理」 「政治・経済」	
146			数学Ⅱ		※ 「物理基礎」 「地学基礎」

※は選択科目です。 2、3 年生の科目は現時点でのものです。

授業形態

学習指導においても自発的学習を重視するという観点から、各教科が「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組をしています。SSHの学校設定科目「学術研究」で培った探究活動が通常の科目に、通常の科目で身に付いた能力が「学術研究」に、といったようにお互いに補い合って理解を深めています。



授業時程 (55分授業)・土曜授業

55分×6コマの授業を実施しています。

(『学術研究』の授業が7校時に実施される日があります)

55分授業の利点としては次のことが挙げられます。

- ①55分授業に比べて、5分の余裕があり、腰をすえた授業ができます。
- ②放課後の生徒の自主的な活動時間を保証しています。
授業終了時刻が曜日によって変わらないため、生活のリズムがつくりやすく、生徒会活動や部活動などの課外活動、課外講習の時間も十分に確保しています。
- ③1週間で55分×30コマ授業を行うことで、50分換算で33コマ分の授業を行うことができます。

また、本校は伝統的な学校行事も多く設定されています。年間4回程度の土曜授業(午前中、3コマ)を行うことで、授業時間数の確保にも努めています。

『一高のてびき』・『シラバス』 『学年のてびき』・『進路資料』

入学するとすぐに『一高のてびき』を用いて、仙合一高における「生活」や「学び方」についてオリエンテーションが行われます。

また学年ごとに年4回発行する『学年のてびき』は、学習を進める上で必要なことや、その時々 of 学年の話題となっていることを取り上げています。生徒たちが自主的に執筆する「有志投稿」のページもあります。

その他、『SYLLABUS(シラバス)』(全教科・全科目の年間学習計画の一覧表とともに、学習方法や評価方法を掲載)や『進路資料』(大学入試に向けての各種データや合格体験記等を掲載)を作成、活用しています。

通常授業時程

7:00	校舎解錠(平日)
8:30～	S H R
8:40～ 9:35	1校時
9:45～ 10:40	2校時
10:50～ 11:45	3校時
11:55～ 12:50	4校時
12:50～ 13:40	昼休み
13:40～ 14:35	5校時
14:45～ 15:40	6校時
(15:50～ 16:45	7校時)
清掃・放課・部活動等	
19:00(平日) 17:00(土日祝)	生徒完全下校



学習室
(自習室)

土日祝を含め、ほぼ毎日、早朝、昼休み、放課後、部活動の前後など、多くの生徒が学習に取り組んでいます。



図書館

県内高校随一の蔵書数を誇ります。新着図書展示やテーマ展示も随時行っています。探究活動の際などに多くの生徒が利用しています。



一高のてびき(掲載項目抜粋)

- ・卒業生から新入生へのメッセージ
- ・一高の学習について
各教科の学習法の詳細
ノートのとり方(実物コピー)
- ・成績評価、進級、卒業認定
- ・進路目標の達成に向けて
- ・充実した生活を送れるよう支援する
- ・学術研究の具体的な進め方 他

学年のてびき(掲載項目抜粋)

- ・考査、模試成績概況、成績総括
出題のねらい、復習方法
- ・長期休業中の過ごし方
- ・定期アンケート集計結果
- ・課外講習実施要項
- ・進路希望調査結果一覧
- ・学術研究Ⅰ 課題研究テーマ一覧
- ・有志投稿 他

仙台一高の一年



入学式

一高生としての自覚をもって新たな生活がスタートします。厳かな雰囲気の中で、生演奏での校歌披露も行われます。



対面式

応援団・生徒会が企画・運営する新入生歓迎行事。厳かな雰囲気で行われ、一高に入学したことが実感できます。



校内競技大会

各HRの実行委員によって企画・運営されています。球技中心に行われ、各学年HR単位で種目別優勝・総合優勝をめざします。



一高祭

発起人による実行委員会によって企画・運営されます。ウォーターボーイズ&ガールズは一高祭の大きな目玉になっています。



運動祭

発起人と各HRから選出された実行委員によって企画・運営される体育的行事。同窓会寄贈の大優勝カップをめぐって縦割りHRで熱戦が繰り広げられます。各縦割りHRの3年生代表が大将を務め、大将を中心に一高生が団結しています。それぞれのHRの衣装も工夫が凝らされています。



一高祭

一高祭は多種多様な企画で盛り上がっています。学芸部のアカデミックな発表も見ものです。延べ1万人を超えるお客様に、一高生のバワフルな姿を披露しました。

第1学期

(4月1日～9月30日)

4月

入学式
始業式・新任式
対面式
オリエンテーション
運動祭

5月

PTA総会
アピール行進
生徒総会
一高・二高硬式野球定期戦
一高・二高軟式野球定期戦
一高・二高三部定期戦

6月

高校総体
第1期考査

7月

校内競技大会
夏期課外
学校説明会
合同巡検(1学年)
校外研修(2学年)

8月

夏期課外
一高祭

9月

第2期考査



生徒総会

総会議長が召集し、昼休みに開催されます。行事や予算案などについて、熱のこもった議論が交わされます。



アピール行進

長年の伝統を誇る硬式野球定期戦。定期戦アピール行進では、応援団長を先頭に、応援団と有志の調停委員が全体をリードして、一番町を練り歩き、定期戦をアピールします。ゴール地点の西公園では、宿敵二高とのエール交換も行われます。令和7年度の定期戦は、5月10日に開催され、見事一高が勝利、5連覇を成し遂げました。夕方には学校に戻り、張りぼてを燃やしながら、ファイヤーストームを行い、勝利の余韻に浸りました。なお、硬式野球以外にも多くの部が定期戦を行っています。



硬式野球定期戦



ファイヤーストーム

仙台一高の施設



体育館



第2グラウンド (若林区荒井)



正門



自転車置場



桜並木



プール



弓道場



食堂



トレーニングルーム



テニスコート



エレベーター



地下書庫



石彫モニュメント
"COSMOS" "宇宙"
片桐 宏典
(高29回生・PACT PROJECT) 作



強歩大会

早朝に学校を一齐にスタートし、各自のペースで約35km先の秋保温泉をめざします。各HRから選出された実行委員によって運営されます。完走・完歩した後の充実感は格別です。



卒業式

一高で過ごした日々を振り返りながら、新たな旅立ちを誓う日です。全員で歌う校歌や応援歌は、体育館全体に響きわたり、感動的です。本校同窓生による卒業記念講演も行われます。



東北大学 学部学科説明会

秋季から冬季にかけて、大学の先生をお招きした各種講演会が数多く開催され、多種多様な学びの機会が提供されます。



SSH学術研究発表会

学術研究IIの各ゼミ代表がこれまでの研究成果を発表します。特筆すべき発表には、SSH運営委員の大学の先生方から特別賞が授与されます。

第2学期

(10月1日～3月31日)

第2学期始業式

強歩大会
生徒総会
芸術鑑賞会

第3期考査

共通テスト

学年末考査

卒業式
終業式
離任式

10月

11月

12月

1月

2月

3月



芸術鑑賞会

演劇・音楽・古典芸能の3つの分野を3年間で鑑賞します。本物の芸術に直接触れることができる機会です。写真は令和6年度に実施した演劇の鑑賞で、白熱した演技に引き込まれました。

一高は社会

生徒は自覚と責任をもって行動し、学校は生徒を1人の人格として尊重します。

一高は学びの場

生徒は学ぶものとしての謙虚さをもち、学校は生徒に多様な学ぶ機会を提供します。

一高の楽しさ

楽しさは与えられるものではなく、生徒自身が参画し、実行することで得られるものです。学校はそれを見守ります。



同窓会館



卓球場



多目的教室



視聴覚室



食物実習室



和室



剣道場



実験室



音楽室



家庭総合実習室



柔道場



部室棟



講義室



美術室



山小屋(蔵王町遠刈田温泉)

令和6年度の主な部活動戦績

運動部

〈弓道〉	総体	男子団体	3位	女子団体	ベスト8	男子個人	ベスト8
	新人	男子団体	5位	女子団体	4位		
		男子個人	優勝			東北選抜・全国選抜出場	
〈剣道〉	総体	男子団体	準優勝			東北大会出場	国民スポーツ大会出場
	新人	男子個人	3位				
〈硬式庭球〉	総体	女子団体	3位	新人	女子団体	ベスト8	
〈硬式野球〉	秋季宮城県大会		ベスト8			宮城県21世紀枠推薦校に選出	
〈山岳〉	総体	男子団体	東北大会 5位	新人	男子団体	5位	
〈水泳〉	総体	男子4×100mFR／男子4×200mFR／男子4×100mMR	3位			東北大会出場	男子50m自由形 東北大会 3・4位 全国大会出場 他東北大会6種目出場
	新人	男子4×100mMR／男子4×100mFR	3位			東北大会出場	
		男子4×100mMR	東北大会 4位			女子4×100mMR	5位
〈卓球〉	新人	男子団体	ベスト8				
〈軟式野球〉	新人		3位				
〈バスケットボール〉	総体	女子	ベスト8				
	新人	女子	5位			岩手・宮城対県選抜バスケットボール大会	ベスト4
〈ハンドボール〉	新人	男子	ベスト8				
〈フェンシング〉	総体	女子団体	3位	女子個人サーブル	3位	東北大会出場	
		男子個人サーブル	5位	女子個人フルーレ	8位		
		女子個人エペ	5位	女子個人サーブル	6位		
	新人	男子団体	3位	女子団体	3位	男子サーブル	3位・7位
		女子フルーレ	3位	女子エペ	3・5位	女子サーブル	3・5位
〈ラグビー〉	総体		8位			合同チームで出場	
〈陸上〉	総体	女子4×100mR	6位			東北大会出場	
		女子4×400mR	3位			東北大会出場	
		男子800m	東北大会7位			女子100mH	東北大会7位
		女子円盤投げ	東北大会8位			他東北大会3種目出場	



運動部 (23)

★は男子のみ

★硬式野球	★サッカー
★ハンドボール	弓道
剣道	硬式庭球
山岳	柔道
水泳	ソフトボール
卓球	軟式庭球
軟式野球	バスケットボール
バドミントン	バレーボール
フェンシング	ラグビー
陸上競技	ヨット
少林寺拳法	フットサル
応援団	

学芸部 (21)

映画	演劇
合唱	軽音楽
化学	クイズ研究
語学	室内楽
写真	出版
吹奏楽	生物
地学	電腦研究
美術	物理
文芸	放送
鉄道研究	書道
囲碁・将棋	

新人 女子4×100mR 5位 女子400m 東北大会5位
 男子400m 東北大会7位 他東北大会2種目出場
 〈ヨ ッ ト〉 総体 男子コンバインド 東北大会5位 女子コンバインド 東北大会5位
 女子ILCA6級 東北大会1位 全国大会出場
 男子420級 東北大会4位 全国大会出場 他4種目東北大会出場
 新人 男子 420級 1位 ILCA 1位 女子 420級 1・2位 ILCA 1位
 〈少林寺拳法〉 総体 男子総合 2位 東北大会出場 男子組演武 東北大会2・3位
 女子総合 3位
 新人 男子規定組演武 1位(全国選抜出場) 女子規定組演武 2位(全国選抜出場)



学芸部

〈囲碁将棋〉 (将棋) 全国総文祭将棋大会宮城県予選大会
 男子団体 優勝 全国大会 ベスト16 男子個人B級 3・5位
 宮城県高等学校新人大会 男子個人A級 優勝 東北大会出場
 全国高等学校将棋新人大会 男子個人ベスト16
 (囲碁) 文部科学大臣杯 全国高等学校 囲碁選手権大会 宮城県大会
 男子団体 2位 全国大会出場
 〈吹奏楽〉 宮城県アンサンブルコンテスト クラリネット8重奏 銀賞 フルート5重奏 銀賞
 全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト東北大会 フルート 金賞/銅賞
 〈合唱〉 宮城県高等学校声楽コンクール 優良賞
 〈軽音楽〉 宮城県高等学校対抗バンド合戦1年生大会 3位
 〈放送〉 全国高校放送コンテスト宮城県大会 優良賞
 〈物理〉 宮城県高等学校生徒理科研究発表会 物理分野
 最優秀賞 全国高等学校総合文化祭出場
 〈クイズ研究〉 AQL2024東北リーグジュニアの部 3位
 〈鉄道研究〉 全国高等学校鉄道模型コンテスト ベストクリエイティブ賞
 〈書道〉 全日本高等学校書道コンクール 全日本高等学校書道教育研究会賞・優秀賞
 全日本書初め大展開覧会 日本武道館賞・特選
 〈演劇〉 東北地区高等学校演劇発表会 生徒講師部門出場

※県大会上位入賞以上のみ掲載



仙台一高の進路支援

個々の生徒が自己実現の道を拓き得るよう援助します。生徒の皆さんには、10年後、さらなる将来を見通した高い志を持ち、「入れる大学より入りたい大学」への進学を追求する姿勢を貫いてほしいと考えています。

学習面のサポート 学習習慣の確立 → 学習法の確立 → 大学入試対策

早期に学習習慣を身につけ、家庭学習の時間を十分に確保した上で、学習の方法やスタイルを確立し、積極的に授業に臨む姿勢を育て、基礎学力を養います。また、大学入試に向けた学習計画を立て、入試に堪えるだけの確かな学力を身に付けていきます。

- 1、2学年 夏期課外（7月：1学年5日間、2学年6日間）、
冬期課外（12月：3日間）
- 3学年 夏期課外（7～8月：16日間）
冬期課外 / 直前演習（12月：3日間）
放課後課外（4～12月：週4日20週分）
推薦・面接等指導、小論文指導
各教科添削指導



いずれの課外も、希望者が必要な科目を選んで受講します。3年生の各種指導も割当はありますが、添削については自ら教員へ頼みにいく生徒がほとんどです。

生き方のサポート 自己理解・職業 → 具体的な将来像 → 進路決定

自己理解や職業観を深め、将来実現すべき自身のあり方や生き方を探求し、将来像をより具体的な形に作り上げ、進路志望を揺るぎないものにします。進路指導部以外でも多くの講演会などが企画されています。

- 全学年 進路オリエンテーション（5月）
進路講演会（2～3回）、東大京大プロジェクト
- 1、2学年 スタディサポート（新1学年予備登校時）
進路希望調査（6、11月）、東北大学 学部学科説明会
OBOG 講演会、学問・学部学科研究（LHR）
オープンキャンパス参加（1学年は必須）
- 3学年 進路希望調査（4、8月）
東北大学 学部学科説明会（希望者）



学部学科説明会は、東北大学の先生方を招いて専門分野の講演を中心に、大学についての説明があり、例年12講座から選択して受講します。OBOG講演会は、東大、京大、東北大のOBOGが大学各部の魅力を語ってくれます。さらに難関大を目指す生徒には東大京大プロジェクト（写真）、卒業後の生き様を語っていただく社会人講話などがあります。

大学進学の手サポート 自己理解・職業 → 学部学科 → 大学

興味ある学問について自ら調査・研究する姿勢を育て、具体的な進学の道を拓くとともに、大学入試の実際を理解し、主体的な進路選択ができるようにします。その上で早期に志望校を決定し、実際の受験に対応するための資料や知識を自ら収集していきます。

- 全学年 進路資料 / 合格体験記、SHINRO NEWS
進路室資料、自習室資料
- 1、2学年 校内実力考査（4、8、1月）
模擬試験（全員対象4回：7、11、1、3月）
- 3学年 校内実力考査（4月）、校内模試（8、11月）
模擬試験（全員対象7回：6～12月各1回）
模擬試験（希望者）
※校内実力考査・校内模試は本校オリジナルの問題です。



進路室隣の会議室の書架には、大学入試対策問題集や過去の模擬試験があり、生徒も利用できます（写真）。自習室（4ページ参照）はほぼ1年中開いており、休日や平日の部活動後に利用する生徒もいます。全員対象の模試で自身の力を試し伸ばします。教員も各種模試等を利用して指導に備えています。

保護者へのサポート

保護者の皆様に対しても進学講演会、保護者版「合格体験記」の配付など、最新の情報を共有するとともに連携を深めていきます。

最近4年間の主要大学合格状況

○ 難関10大学合格状況

()内は現役合格者数

大学名	R7年度入試	R6年度入試	R5年度入試	R4年度入試
北海道	8(5)	3(3)	7(4)	6(4)
東北	71(47)	65(43)	75(54)	67(48)
東京	2()	3(2)	2()	4(2)
一橋	2(1)	()	1(1)	2(1)
東京科学	1(1)	()	2(2)	()
名古屋	()	2(2)	()	1(1)
京都	2(1)	2()	5(4)	1(1)
大阪	4(3)	1()	7(5)	6(4)
神戸	1()	1(1)	1(1)	3(1)
九州	()	()	()	2(1)
難関10大計	91(58)	77(51)	100(71)	92(63)

○ 医学部医学科合格状況

大学名	R7年度入試	R6年度入試	R5年度入試	R4年度入試
弘前	1(1)	()	1()	3(2)
東北	()	1()	2(1)	2(1)
秋田	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)
山形	5(4)	()	()	()
新潟	1()	()	1()	()
札幌医	1()	()	()	()
福島県医	2(1)	1()	3(1)	1(1)
東北医薬	2(1)	2()	3()	5(4)
国際医福	1()	()	()	()
獨協医	()	()	1()	1()
東海	1()	()	()	()
東京女医	()	()	1()	1()
藤田医	1()	()	()	1()
他	防衛医科	()	()	2()
国公立計	11(7)	3(1)	8(3)	9(5)
私立計	5(1)	2()	5()	8(4)
医学科計	16(8)	5(1)	13(3)	17(9)

○ 私立大学・その他

大学名	R7年度入試	R6年度入試	R5年度入試	R4年度入試
岩手医科	2(1)	1()	3()	5(4)
東北学院	56(45)	83(74)	68(58)	70(48)
東北医薬	15(14)	22(20)	14(9)	20(17)
青山学院	11(7)	2(2)	12(11)	7(5)
学習院	4(3)	()	1(1)	4(4)
慶応義塾	7(5)	8(1)	4(4)	8(2)
上智	5(4)	2(1)	6(2)	3(2)
中央	40(19)	34(20)	47(23)	40(18)
東京理科	33(11)	20(6)	38(9)	27(16)
津田塾	()	()	3(1)	5(3)
日本	10(2)	9(6)	11(1)	30(16)
法政	59(31)	39(17)	60(27)	44(25)
明治	63(35)	36(14)	44(21)	41(17)
立教	17(12)	6(1)	15(8)	10(10)
早稲田	15(12)	6(5)	22(12)	18(10)
同志社	4(1)	2()	6()	9(1)
立命館	11(7)	4(1)	15(3)	16(6)
その他	171(107)	121(82)	168(92)	205(120)
私立大計	523(316)	395(250)	537(282)	562(324)
大学校	防衛	()	1(1)	2(1)
防衛医科	1(1)	()	1(1)	2()
その他	()	()	()	()
大学校計	1(1)	()	2(2)	4(1)

○ 国公立大学合格状況

大学名	R7年度入試	R6年度入試	R5年度入試	R4年度入試
北海道	8(5)	3(3)	7(4)	6(4)
弘前	3(3)	2(1)	3(1)	6(5)
岩手	6(4)	12(11)	10(9)	6(4)
東北	71(47)	65(43)	75(54)	67(48)
文	7(4)	7(6)	4(3)	9(9)
法	8(6)	5(3)	6(4)	5(2)
経済	9(7)	12(8)	9(8)	12(9)
教育	2(1)	3(2)	2(1)	3(2)
理数学	1(1)	1(1)	1()	()
理物理	4(3)	1(1)	4(3)	1(1)
理化学	1()	1(1)	1(1)	()
理生物	()	()	1(1)	()
理地科	1()	()	()	()
工機知	2(1)	3(2)	7(4)	6(4)
工電情	5(5)	6(3)	3(3)	7(4)
工化バ	4(1)	1()	4(3)	3(3)
工材料	()	2(2)	5(4)	1(1)
工建築	1()	2()	6(3)	3(2)
医医	()	1()	2(1)	2(1)
医保	11(7)	12(8)	5(5)	8(5)
歯	3(2)	1(1)	2(1)	2(1)
薬	5(3)	1(1)	8(5)	3(2)
農	7(6)	6(4)	5(4)	2(2)
宮城教育	17(14)	9(9)	12(11)	16(13)
秋田	2(1)	7(4)	1(1)	1(1)
山形	34(28)	38(34)	15(12)	35(29)
福島	2(1)	4(3)	4(3)	6(5)
茨城	3(2)	5(3)	1(1)	3(3)
筑波	6(6)	3(1)	4(2)	4(4)
宇都宮	2(2)	3(3)	5(3)	3(3)
埼玉	8(4)	3(2)	11(11)	10(3)
千葉	8(7)	12(8)	12(5)	8(7)
東京	2()	3(2)	2()	4(2)
一橋	2(1)	()	1(1)	2(1)
東京外語	2(2)	()	1(1)	1()
東京学芸	5(5)	4(4)	3(3)	3(3)
東京芸術	()	1(1)	()	()
東京科学	1(1)	()	2(2)	()
お茶の水女子	()	()	()	()
東京農工	8(6)	3(1)	2(1)	2(1)
東京海洋	()	1()	1(1)	1()
電気通信	2(2)	1()	2()	1(1)
横浜国立	7(4)	2()	4(2)	3(2)
新潟	6(4)	5(2)	15(8)	8(3)
金沢	()	()	2(2)	1()
名古屋	()	2(2)	()	1(1)
京都	2(1)	2()	5(4)	1(1)
大阪	4(3)	1()	7(5)	6(4)
神戸	1()	1(1)	1(1)	3(1)
九州	()	()	()	2(1)
その他	7(4)	8(6)	12(6)	13(4)
国際教養	()	1(1)	2(2)	3(1)
宮城	5(4)	11(9)	4(3)	7(7)
福島県医	6(4)	5(4)	3(1)	1(1)
高崎経済	()	7(4)	5(2)	3(2)
東京都立	5(3)	1()	7(6)	5(4)
都留文科	()	()	1()	()
横浜市立	2()	()	1(1)	()
その他	5(3)	9(8)	9(8)	6(5)
国公立大計	242(171)	234(170)	252(177)	248(174)

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）とは、先進的な科学技術、理科・数学教育を通して、生徒の科学的な探究能力等を培うことで、将来、国際的に活躍し得る科学技術人材等を育成するための取組として、文部科学省が全国200校程度の学校を指定して行っている事業のことです。

仙台一高は平成24年度からの第Ⅰ期、第Ⅱ期の10年に引き続き、令和4年度から第Ⅲ期5年間の指定を受けました。全生徒を対象に、校訓「自重献身」、標語「自発能動」を国際社会で具現化しうる人材を輩出することを目指し、学校設定教科「学術研究」における課題研究を中心とする、さまざまな取組を行っています。

一高の探究活動

学問とは本来、問題や正解が用意されているものではありません。身近な事柄にも研究の種があり、研究を深める余地があります。知的好奇心にみちびかれて、自分で問題を見つけ、それを追究していくことが学問のあり方です。このような学びを探究活動といいますが、一高では「共通教科・科目」と学校設定教科「学術研究」とが、連携を図りながら探究活動を行います。

「共通教科・科目」と「学術研究」の両輪で学問の楽しさ・醍醐味を味わうことができるのが「一高の探究活動」です。



ポスター発表会

みんなで楽しむ探究活動（共通：全員）

科目	内 容	時期	学習項目	学習活動	イベント
学術研究Ⅰ (1年 2単位)	年度の前半に行われるブレ課題研究を通して、研究の手法や、ポスター・レポート作成の基本を学びます。 10月以降は、各自の興味・関心や進路希望に応じて14のゼミに分かれて所属し、活動していきます。各ゼミでは、各自が興味・関心のある研究テーマをグループで設定し、2年生の助言を受けたり、ゼミ内で発表会を行ったりしながら研究を進めます。	1期	ガイダンス	学術研究・課題研究を知る	オリエンテーション 学術研究入門 課題研究講演会 (研究を始める)
		2期	ブレ課題研究	身近なテーマで課題研究の一連の活動を学ぶ	ブレ課題研究ポスター発表会
		3期	課題研究	ゼミ決定 班編制	課題研究説明会
		4期		テーマ設定	先端科学技術講演会 テーマ設定発表会
学術研究Ⅱ (2年 2単位)	1年次から始まった各ゼミでの研究をさらに進めます。また、それぞれの研究テーマに関連する研究所や大学の研究室、企業などを訪問し、そこで得た助言を踏まえて、研究を練り上げていくことができます。 10月から12月にかけては、研究の仕上げとしてポスター発表や口頭発表を行い、論文を完成させます。	1期	課題研究	研究活動	中間発表会
		2期		まとめ・発表	課題研究講演会 (研究のまとめ)
		3期		継続研究活動 1年生へ課題研究の指導	ポスター発表 口頭発表会
		4期			先端科学技術講演会 研究論文作成 SSH学術研究発表会 (ゼミ代表)

高みに挑戦する探究活動（キャリア志向に応じて：希望者）

学術研究Ⅲ (3年：1単位)	★自分の研究を校外の様々なところで発表したい人にオススメ！ 2年次までの研究活動を継続して大学での研究につなげたいと考える生徒が選択し、研究を深め、総合的な課題解決能力を身に付けることができます。
SS探究講座 (2年：1単位)	★各種科学系オリンピックや科学の甲子園に参加したい人にオススメ！ 科学技術系コンテストへ挑戦したいと考える生徒が選択し、講演会や講義、実習などに取り組み、高度な課題解決能力を身に付けることができます。
SS国際交流 (2年：1単位)	★将来、国際的に活躍したい人にオススメ！ 国際交流を実践したいと考える生徒が選択し、英語での講義や実習、発表会、そして海外研修などに取り組み、学びを世界に生かす力を身に付けることができます。
SS特別講座 (1～3年：1単位)	★新たな価値の創造に挑戦したい人にオススメ！ 知見を広げたいと考える生徒が選択し、自然科学や社会科学、人文科学など様々な分野の講義を受講し、課題発見能力を身に付けることができます。

特別授業（令和6年度開催分）

本校では大学の先生方を直接お招きして、学部学科説明会・模擬講義・各種講演会を多数開催しています。学部選択、大学で学ぶ意義、大学卒業後の進路を考える貴重な機会になっています。

東北大学 学部学科説明会

- 「Keep you going!」 医学部教授 齋木 佳克
- 「宗教は社会に必要なのか？」 文学部教授 谷山 洋三
- 「近代国家と民法」 法学部教授 吉永 一行
- 「生成 AI を使って学びを加速する」 教育学部准教授 中島 平
- 「物質中の電子の世界」 理学部（物理）教授 是常 隆
- 「くすりははかる」 薬学部教授 大江 知行
- 「建築環境工学と建築環境デザイン」 工学部（建築）教授 小林 光
- 「経済学部で学ぶということ」 経済学部教授 小田中直樹
- 「東北大での研究と高校での勉強」 理学部（数学）准教授 赤間 陽二
- 「電気で作る水素、水素から作る電気：触媒材料研究の一例」 工学部（材料）教授 和田山智正
- 「光の性質と光通信のしくみ」 工学部（電気）准教授 松田 信幸
- 「海と魚とSDGs」 農学部教授 片山 知史

先端科学技術講演会

- 「これから研究を始める仙台一高生のために」（1学年）
- 「これから研究発表をする仙台一高生のために」（2学年）
- 東北大学大学院生命科学研究科 准教授 酒井 聡樹
- 「データ分析講習会」（1学年）
- 仙台大学 助教 山口 恭正
- 「君たちが世界の主役となる舞台です！ Nano Terasu（ナノテラス）」（2学年）
- 東北大学総長特別補佐・国際放射光イノベーション・スマート研究センター 教授 高田 昌樹

卒業記念講演

- 「金融と経営を通じて学んだこと」
- 七十七銀行 取締役頭取 小林 英文氏（高28回）

奨学金

奨学金制度とは、一般的に奨学金の貸付や給付を受けないと修学が困難であること、一定以上の学力を有していること、奨学生に相応しい人物であるかどうかを審査され、奨学生として採用されるものです。基準は事業主によって異なります。本校には財団法人があり、独自の奨学金制度を持っています。本校で実績のある主な奨学金は下記のとおりです。

名 称	月 額	種 別
宮城県仙台一高奨学会	10,000 円	給付
亀井記念財団	10,000 円	給付
高等学校育英奨学資金	18,000 円～ 23,000 円	貸付
庄慶会	23,000 円	貸付
Heroes 育成奨学基金	20,000 円（2・3年次）	給付
あしなが育英会	30,000 円	給付

給付：返還義務のないもの。 貸付：返還義務のあるもの。
制度の改正等により、内容が変更になる場合があります。

仙台一高 Q & A

Q₁ 年間どれくらいお金がかかりますか？

- A₁** ※令和7年度1年生の場合
- 入 学 金 5,650 円
 - 教 科 書 約10,000 円（選択科目によって変わります）
 - 服 装 制服はありません。質素端正なものを身につけましょう。
上履きはあります。靴のまま校舎に入
入りができます。
体育館は専用シューズが必要です。
 - 体育用品 長袖体育着上下・体育館シューズ等
約18,000 円（男女で若干金額が変わります）
 - 学校徴収金 23,800 円（生徒会費、父母教師会費等）
 - 学年費・外部模試受験料等 42,712 円
 - 補助教材費 約25,000 円
 - 授 業 料 118,800 円
（就学支援金または臨時支援金が認定された場合は負担なし）

Q₂ タブレット端末の購入について教えてください

- A₂** 本校では、教育活動のために Chromebook を新入生全員に購入いただくことにしております。この端末は、セキュリティを守るために学校が指定した業者が統一した設定を行い、校内 Wi-Fi 環境へ接続するものであり、授業での利用や学術研究の探究活動、課題作成、Google の Classroom 機能を使っての提出、連絡などに使用されます。
*購入金額 令和7年度1年生の場合 55,220 円（税込）

Q₃ 修学旅行はありますか？

- A₃** 修学旅行は実施しておりませんが、1年次に合同巡検（1泊2日宮城県内）、2年次に校外研修（1泊2日東京方面）があります。合同巡検は、理科・社会分野を中心テーマとし、自然や社会の様子に直接触れ合うことを目的に、校外研修は、大学・官公庁・研究機関・民間企業等の訪問をとおして、課題解決の姿勢を育むことを目的に実施されます。



合同巡検（令和6年度）



校外研修（令和6年度）

Q₄ 海外研修はありますか？

- A₄** 2年次に「ISS 国際交流」選択者を対象に、台湾研修を行っています。現地では台湾の高校との交流・英語での研究発表・台湾の大学や研究施設の訪問などを行う充実したプログラムになっています。令和6年度は東北大学の支援を得て「インドネシア研修」も実施しました。



海外研修（令和6年度／台湾）



（令和6年度／インドネシア）

Q₅ 食堂について教えてください

- A₅** 営業時間は平日 11 時 30 分から 13 時 30 分です。日替ランチのほか、カレー、そば、うどん、ラーメンなどがあります。テイクアウトのおにぎり、パン、焼きそば、飲料等も販売しています。長期休業中、考查期間中、午前授業の日は休業です。

在校生・卒業生からのメッセージ

「一高らしさ」

前期生徒総会議長 金子 奈央（78回生） 仙台白百合学園中学校出身

一高での3年間は、私にとって毎日が新しい発見と驚きの連続でした。生徒の自主性を重んじる一高では、発起人制度を取り入れており、様々な志を胸に抱いた生徒たちの手で学校行事が創り上げられていきます。多くの生徒が積極的に学校づくりに携わるので、生徒の意見やアイデアが直接反映され、より充実した思い出に残る行事となっています。私は、その生徒の自発的な活動を支えたいという思いから、議長団で活動をしてきました。生徒は、普段の生活から、学習や部活動、校外活動などの様々な経験から得た知識をもとにした多角的な意見を出し合い、考えを深めています。そのため、自ずと自分自身と向き合い、思いを言葉にして伝える力が身に付いていきます。仙台一高は、高みを目指し続けるだけでなく、ユーモアに溢れた個性を持った人が多く集まる学校です。そして、皆さん次第で、自分の学びたいことをやりつつ、行事も全力で楽しみつつ、人として大きく成長することができる場所でもあります。人生において、様々な人に出会えて刺激を受けながら、青春を謳歌できる、かけがえのない3年間になること間違いなしです。ぜひ、この仙台一高に入学して、自分の可能性を広げてみませんか。

「やっぱり一高」

第九十代応援団団長 永井 佑（79回生） 仙台市立八軒中学校出身



一高の応援団を君は知っているだろうか。一高生約960人は全員応援団員であり、全校をまとめて熱く盛り上げ、校風の発揚をしていくのが我々応援団幹部である。私は現在、この一高応援団の頂点に立つ団長として活動している。団長というものは容易にできるものではなく、ときには大変なこともあるが、それ以上に大きなやりがいがある。特に例年5月に行われる「硬式野球定期戦」は生涯忘れることは無いだろう。楽天モバイルパーク宮城で行われる試合で、両校が白熱した応援合戦を繰り広げる。その中で、私は団長として一高生を鼓舞し、選手のために応援で戦った。結果は大勝であった。その上、100年以上の歴史を持つこの定期戦で、史上初の5連覇を成し遂げたのだ。この快挙は未来永劫、一高の歴史に深く刻まれることだろう。よって勝利の瞬間、団長になれたことに強い誇りを感じた。君も一高での輝かしい3年間で、夢中になれることを見つけてみてはどうだろうか。

京都大学 工学部 電気電子工学科

落合 颯太（77回生） 軽音楽部 大和町立大和中学校出身

私は、自由な校風に憧れて仙台一高に入学しました。入学当初は、一高の「自由」を全く知らず、何も行動できず、京大志望も途中で諦めてしまうだろうと考えていました。しかし、周囲の先生や仲間の援助を受けて、能動的にSSHに関する講座に参加したり、男女平等について考える委員会を設立したりしました。また、学力上位層に追いつきたいと思い、学習に力を注いだりしたことを経て、私は一高の「自由」を享受し、周囲の人々のために何か行動を起こすことができる人となり、無事、京大合格にたどり着くことができましたと考えています。仙台一高は進学校と呼ばれていますが、他の進学校とは異なり、勉強に限らず仲間と様々な場面で切磋琢磨することができ、加えて一高の「自由」によって生み出される一高特有の社会性を通じて、学力を伸ばすだけでなく、社会で生きる人として成長することができる学校だと思います。ぜひ皆さんもこの仙台一高で、仲間と最高の高校生活を過ごし、さらに一高の自由を享受し、世界で羽ばたくことができる人へと成長してみませんか。

山形大学 医学部 医学科

伊東 柊真（77回生） 硬式野球部 大郷町立大郷中学校出身

私が最初に一高を志した理由は、学習と部活動の両方に力を入れることができる高校だと思ったからです。そして、何となく楽しそうだなという印象がありました。実際に入学してみると、部活動で飛び抜けた成績を残している人や、考査や模試でとても高い点数を取っている人がいて、ものすごく刺激を受けました。私自身は硬式野球部に所属して、仲間とともに甲子園をめざして本気で練習をしていました。野球に本気になりすぎて、学習が疎かになってしまうこともありましたが、部員と過ごした2年半ほどの活動はとても貴重な経験になったと思います。引退後の受験勉強では辛くなることも多かったですが、1つのことに集中して本気で取り組むという経験ができたからこそ、「なにくそ」という気持ちを持って乗り切ることができました。何かに本気になって取り組むということは、私のように部活動でもいいし、もちろん学習でもいいし、学校行事でもいいと思います。そして、それに取り組むことのできる環境が一高にはあると思います。中学生の皆さん、この素晴らしい環境で3年間、最高の高校生活を送ってください。

東北大学 農学部

佐藤 空（77回生） バスケットボール部 宮城県仙台二華中学校出身

私は中高一貫校に通っていましたが、勉強とバスケのどちらも高いレベルを目指せる一高に強く惹かれて入学しました。現役時代は朝から晩まで練習し、先生やチームメイトにも恵まれ、2年連続で県3位になり、国体選手にも選ばれました。受験期は先生方の手厚いサポートに加えて77回生全員で頑張ろうという一体感があったことで、集中して勉強に励み、志望校に合格することができました。自分のやりたいことに果敢に挑む多くの仲間と、切磋琢磨しながら過ごした3年間は、本当に濃密でした。主体的に考えて動く力、時間を上手く使う力、団結して物事をやりとげる力、前に立って発言する力など、一高生だからこそ身に付いた力がたくさんあったと思います。そして何より、卒業時には全員一高口スになるくらい、めちゃくちゃ楽しい高校生活です。皆さんにもぜひこの素晴らしい環境で、自分色の最高の青春を送ってもらいたいと思います。

令和8年度入学者選抜

募集定員 全日制 普通科320名・8クラス

学校紹介

本校は、校訓「自重献身」、標語「自発能動」のもと、自主自立の精神に充ちた、社会に貢献できるリーダーの育成を目指しています。文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、学校設定教科「学術研究」における課題研究を中心としたさまざまな取組を行っています。授業では、早期に学習スタイルを確立し、積極的に授業に臨み確かな学力を身に付けています。学校行事や部活動も盛んで、生徒が企画・運営を行っており、生徒自らの主体性を伸ばしています。確かな学力に裏打ちされた健全な批判力で、社会における諸問題を解決しようとする意識を身に付けています。他者を尊重し、自らも伸び伸びと活躍できる活気のある学校です。

求める生徒像

社会に貢献できるリーダーを目指し、高校生活のあらゆる場面で自己の可能性を追求しながら、積極的に他者と関わっていかうとする、次の1～4の全てに当てはまる生徒を求めます。

- 1 極めて優秀な学力を有し、学問の本質を探究する意欲にあふれた生徒
- 2 課題の解決やその取組の発信に積極的で、よりよい社会の構築にむけて理想を実現しようとする高い志を有する生徒
- 3 幅広い知識、または優れた技能を有し、主体的な学習者として、継続的に日々努力できる生徒
- 4 部活動、特別活動、校外活動等で中心的な役割を担い、または優れた能力や顕著な実績がある生徒

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序

共通選抜 → 特色選抜

共通選抜	288名(募集定員の90%)
学力検査：調査書	7 : 3
学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は7:3とする。	
*調査書点：「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」	

特色選抜	32名(募集定員の10%)
上記「求める生徒像」の3及び4のいずれかに当てはまる生徒を重視します。	
I 配点	
1 調査書	195点
・国語、数学、社会、英語、理科……全学年の評定を1.0倍にする	
・音楽、美術、保健体育、技術家庭…全学年の評定を2.0倍にする	
2 学力検査	500点
・国語、数学、社会、英語、理科……得点を1.0倍にする	
合計 695点	
II 選抜方法	
・審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する32名の200%の範囲に含まれる者(64名)を対象として行う。	
・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。	

第二次募集（選抜方法等）

I 配点	1 調査書 195点
	・国語、数学、社会、英語、理科……全学年の評定を1.0倍にする
	・音楽、美術、保健体育、技術家庭…全学年の評定を2.0倍にする
	2 学力検査 300点
	・国語、数学、英語(各教科100点満点)
	3 面接 55点
	合計 550点
II 選抜方法	上記Iを基に、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文

I 面接	1 形態 個人面接
	2 時間 15分程度
	3 内容 (1) 志望動機
	(2) 中学校での活動状況
	(3) 将来の進路志望
	(4) 口頭試問
	4 観点 (1) 態度 15点
	(2) 表現力 15点
	(3) 理解力 25点

令和7年度

在校生の出身中学校(県内分)



(仙台市)第一, 第二, 三条, 上杉山, 五城, 五橋, 台原, 北仙台, 中山, 広瀬, 大沢, 桜丘, 吉成, 折立, 南吉成, 東華, 宮城野, 岩切, 高砂, 東仙台, 中野, 幸町, 西山, 田子, 八軒, 南小泉, 六郷, 七郷, 蒲町, 沖野, 愛宕, 長町, 中田, 西多賀, 郡山, 八木山, 山田, 秋保, 袋原, 人來田, 富沢, 茂庭台, 柳生, 鶴谷, 七北田, 八乙女, 将監, 南光台, 向陽台, 加茂, 将監東, 鶴が丘, 寺岡, 長命ヶ丘, 南中山, 高森, 松陵, 館, 住吉台, 錦ヶ丘, 仙台二華, 仙台青陵, 宮城教育大学附属, 東北学院, 仙台白百合学園, 聖ウルスラ学院英智
(白石市)白石(刈田郡)遠刈田(柴田郡)大河原, 金ヶ瀬, 槻木, 船岡, 船迫, (角田市)角田, 北角田
(伊具郡)丸森(塩竈市)第一, 第二, 玉川(宮城郡)利府, しらかし台, 利府西, 松島, 七ヶ浜,
(多賀城市)多賀城, 第二, 高崎, 東豊(名取市)第一, 第二, 増田, みどり台, 関上(岩沼市)岩沼, 玉浦,
岩沼北, 岩沼西(亘理郡)亘理, 荒浜, 逢隈, 山元(黒川郡)宮床, 大和(富谷市)富谷, 第二, 東向陽台,
日吉台, 成田(大崎市)鹿島台, 古川東, 古川黎明, 古川南, 古川西(遠田郡)不動堂, 小牛田(登米市)新田, 豊里
(栗原市)築館, 若柳, 栗原西(石巻市)蛇田, 河南東, 山下, 青葉(東松島市)矢本第一, 矢本第二, 鳴瀬未来
(気仙沼市)津谷



校歌

大槻文彦 作詞
岩城 寛 作曲

青葉の山の深緑
すがすがしきを心に
身をし重んじつつましく
矩をば踰えずまもるべし

広瀬の川の一筋に
我が私をうちすてて
赤き真心捧げもち
御国の為につくすべし

(明治四十二年制定)

應援歌 一番

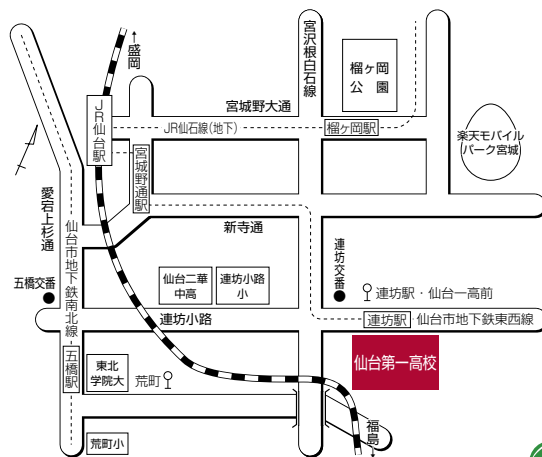
山も怒れば万丈の
煙を吐いて天を衝く
ゆるけき水も激しては
千丈の堤破るらむ
見よ男性の意気高く
堂々と勝つ一高軍

銀鞍軽く凜然と
白馬にまたがる我が選手
日頃きたえし渾身の
技量に飾る晴れ戦
綽々既に敵を呑み
一瞬蹴破る目指す陣



交通案内

- 地下鉄** 東西線 連坊駅より徒歩 1 分
南北線 五橋駅から徒歩 15 分
- J R** 仙台駅東口より徒歩 25 分
榴ヶ岡駅より徒歩 15 分
- バ ス** 仙台駅西口バスプール 5 番乗り場
320 系統・薬師堂駅行
連坊駅・仙台一高前下車徒歩 2 分



宮城県仙台第一高等学校

〒984-8561 仙台市若林区元茶畑4
TEL:022 (257) 4501 FAX:022 (257) 4503
<https://sendai1.myswan.ed.jp/>

